

おおさか 土地改良広報



159
号

発行：令和5年1月吉日

大阪市北区天神橋2丁目4番15号

(東西線アクセスビル 8階)

大阪府土地改良事業団体連合会

TEL : 06-6232-8365

FAX : 06-6232-8623

<http://daidoren.com/>

大阪府土地改良事業団体連合会会長挨拶	1
大阪府環境農林水産部農政室 室長挨拶	2
進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問挨拶	3
宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問挨拶	4
中田直良氏 旭日単光章受章	5
令和4年度第2回監事会	6
令和4年度第2回理事会	6
「農業農村整備の集い」に参加 国会議員へ要望	7
第44回全国土地改良大会沖縄大会	8
令和4年度統合整備推進研修（会計研修）会	9
令和5年度土地改良の予算案について	10
令和4年度第1回支部担当者会議	11
支部協議会だより	11
井川用水（ゆかわようすい）「世界かんがい施設遺産」に登録されました	12
土地改良団体における男女共同参画について	13
土地改良相談	14
今後の行事予定	14



泉州大井閣古絵図（元禄3年(1690)）
に描かれた井川

ゆかわ
世界かんがい施設遺産「井川用水」
泉佐野市日根野土地改良区

大阪府土地改良事業団体連合会会長 挨拶



大阪府土地改良事業団体連合会
会長 北島政夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、大阪府土地改良事業団体連合会の運営に、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の干支は、癸卯（みずのとう）です。

癸は、「物事の終わりと新たな始まり」を、また、卯は、「飛躍」、「向上」を象徴するものとされており、今年は「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年になる」と期待しているところです。

この3年間、新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきましたが、今年こそは制約なく活動ができ、素晴らしい飛躍の年となることを心より願っております。

さて、農業を取り巻く環境は、農産物価格の低迷に加え、世界的なインフレや為替変動などにより資材価格や電気代などが高騰し、大変厳しい状況が続いております。

そのような中、昨年12月23日、令和5年度政府予算案が閣議決定されました。

農業農村整備事業関係の令和5年度当初予算は、4,457億円であり、令和4年度補正予算と合算すると6,134億円となり、厳しい財政状況にもかかわらず、昨年度と同等の予算が確保されました。

また、大阪府におきましても、令和5年度の予算確保に向け、今年度を大幅に上回る予算を要求していただいており、農地の整備や施設の老朽化対策など、これまで以上に取組を強化できるのではと期待しております。

食料安全保障が叫ばれる中、都市農業を一層価値あるものとして成長させていくとともに、先人が苦難を乗り越え守ってきた農空間を、次の世代に引き継いでいくことは、今を生きる我々の責務と考えます。

我々一人ひとりが、そのような気持ちを持ち続けることができれば、大阪の農業・農空間を良好な状態で継承できるものと確信しております。

皆様におかれましては、大阪らしい元気な農空間づくりに向け、中核的な役割を担っていただきますことをご期待申し上げます。

本年が、飛躍の年となりますように、連合会としましても、国・府と連携を密に取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年が会員の皆様にとりまして、輝かしい一年となりますことをご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

大阪府環境農林水産部農政室 室長 挨拶



大阪府環境農林水産部農政室
室長 丹後 晋哉

新年あけましておめでとうございます。

大阪府土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様におかれましては、平素から本府農政の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、大阪府では2025年「大阪・関西万博」のインパクトを最大限に活用して大阪農業のさらなる成長を図り、次代に良好な農空間を引き継いでいくため、昨年「おおさか農政アクションプラン」を改訂いたしました。

本プランでは、「力強い大阪農業の実現」、「豊かな食や農に接する機会の充実」、「農業・農空間を生かした新たな価値創造」の3つの方向性を掲げ、成長を支える生産基盤の整備として、農地の集積集約やスマート農業技術を実現する基盤整備を推進していくこととしています。

また昨年5月、農地の集約化等を進めるとともに、担い手の確保・育成を図るため、農業経営基盤強化促進法等が改正され、地域農業の将来の担い手や、その担い手が耕作する農地を明確にする地域計画を、令和6年度末までに策定することが市町村・農業委員会に義務付けられました。地域計画の策定に向け、農業者をはじめ土地改良区、JAなどの農業団体が地域農業の将来について、ともに検討していくことは、大阪の農地を活かし・守り・次代に継承していく上で大変重要と認識しており、府としてしっかりと支援していく所存です。

これらの取り組みを進めるにあたりましては、土地改良区、市町村、並びに貴連合会の皆様とこれまで以上に連携を深めていくことが何よりも重要でございます。引き続きご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、大阪府土地改良事業団体連合会の益々のご発展を心からお祈り申し上げご挨拶とさせて頂きます。

進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問 挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。大阪府土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいる覚悟です。本年も何卒宜しくお願ひ致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靭化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靭なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中心長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力を願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心から願い申し上げ、新年のご挨拶にさせていただきます。

宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問 挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。大阪府土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の水と土を守り、農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただきておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間、多くのご要望等をお受けし一所懸命に対応してまいりました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、うち、農業農村整備事業関係については、1,677億円が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額として、前年を上回る4,457億円が閣議決定され、合計額6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう一所懸命に努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、そうした中、我が国食料の安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められています。国内の食料生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向にも対応するスマート農業を含めた土地改良の促進や農業農村関係人口の拡大の取り組みなどを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでにも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりとお伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいる決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、大阪府土地改良事業団体連合会ならびに関係機関の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

中田 直良 氏 旭日単光章受章

大阪府土地改良事業団体連合会 前副会長

築留土地改良区 前理事長



令和4年1月3日に、令和4年秋の叙勲が発表されました。このうち土地改良事業功労者として、「旭日単光章」を大阪府土地改良事業団体連合会前副会長（築留土地改良区前理事長）中田直良様が受章されました。

中田様は、昭和31年以来、現在に至るまで農業に従事し、昭和59年に築留土地改良区の理事、平成8年から平成16年までは副理事長を務め、平成24年から令和2年9月まで理事長に就任し、一貫して、土地改良区の先頭に立ち、地域農業の振興や水路整備はじめとする土地改良事業の推進に尽力されました。

また、平成27年より大阪府土地改良事業団体連合会の副会長に就任し、令和2年9月まで、府内の土地改良区活動は、地元における日常の活動が一番大切との思いから、中河内支部長として地域の活動を取りまとめるなど、大阪の土地改良事業の役割のPRに貢献されました。

ここに、土地改良区の発展と土地改良事業の推進にご尽力いただいた中田直良様のご努力に敬意を表し、今後とも益々ご活躍されますことをご期待申し上げます。

本来であれば、農水省主催の伝達式が行われるところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、12月6日（火）に築留土地改良区事務所において伝達式を挙行いたしました。

大阪府環境農林水産部の丹後農政室長より勲記と勲章が手渡され、お祝いの言葉が贈られました。



令和4年度 第2回 監事会



令和4年11月17日（木）、本会において本会規約第25条2項に基づく、第2回監事會を開催いたしました。

勝間代表監事、阪口監事出席のもと、大阪府からは農政室整備課の上田総括主査が立ち会われ、議案はすべて原案通り承認されました。

また、令和4年度第2回理事会には勝間代表監事が出席し報告することになりました。

〔議 案〕

第1号議案「令和4年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果の承認について」

第2号議案「令和4年度一般会計収支補正予算の規約第45条に基づく承認について」

令和4年度 第2回 理事会



令和4年11月30日（水）、アートホテル大阪ベイタワーにおいて本会定款第24条に基づく令和4年度第2回理事会を開催いたしました。

北島会長の挨拶に続き、大阪府からは農政室整備課田中参事から挨拶をいただき、議事に入りました。

理事会では、理事本人出席13名、理事本人欠席4名のもと行われ、議案はすべて原案のとおり承認・議決されました。

〔議 案〕

第1号議案「令和4年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果報告等について」

第2号議案「令和4年度一般会計収支補正予算規約第45条にもとづく専決処分について」

「農業農村整備の集い」に参加 国会議員へ要望



令和4年10月20日（木）に、令和4年度予算編成時期を迎えるにあたり、全国の土地改良関係者が一堂に集い、国会議員、農林水産省、財務省などに対し、予算確保の要請を行う「農業農村整備の集い」が、シェーンバッハ・サボーにおいて、全国から多くの関係者が参加し、開催されました。

本会からは、北島会長をはじめ理事や土地改良区職員等11名参加し、大阪府からは杉田農政室整備課長他1名が参加しました。

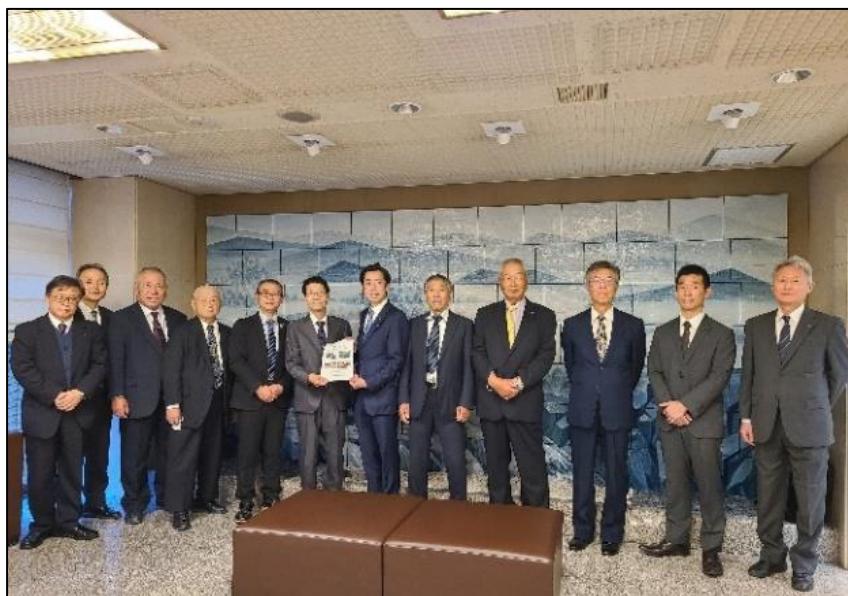
集いには、二階全土連会長、進藤参議院議員、宮崎参議院議員、大阪府選出の国会議員など、全国の国会議員が参加され、二階会長から主催者挨拶、次に藤木農林水産大臣政務官、進藤会長会議顧問などの方々が来賓祝辞を述べられました。

山梨県土地改良事業団体連合会の萩原丈巳氏に全国水土里ネット女性の会初代会長として各県の女性の会の立ち上げなどに尽力されたことによって二階会長から感謝状が贈呈されました。

9項目からなる要請書を全会一致で採択。

胆沢平野土地改良区の及川理事長より「女性理事の登用について」の事例発表、宮崎会長会議顧問から情勢報告が行われ、最後に第44回全国土地改良大会の開催県である沖縄県土地改良事業団体連合会の知念副会長によるガンバロウ三唱の発声後、一同の盛大な拍手で閉会とした。

終了後、本会と大阪府の合同で、国会議員への要望とし、大阪府選出の谷川とむ衆議院議員へ「農の成長産業化を支える生産基盤の整備」や「豪雨、地震等の自然災害に対する防災・減災」等に必要な所要額を令和5年度当初予算で確保されたい」を目的として要望活動を開催しました。



谷川とむ衆議院議員へ要望書手交及び要望面談

第44回 全国土地改良大会（沖縄大会）

榎井 勇様 全国土地改良事業団体連合会長表彰受賞



令和4年11月22日、第44回全国土地改良大会沖縄大会が「沖縄アリーナ」に於いて、全国土地改良事業団体連合会と沖縄県土地改良事業団体連合会の主催により、全国から土地改良関係者が約2,500名集まり盛大に開催されました。本会からは、51名が参加しました。

式典では、沖縄県土地改良事業団体連合会の古謝景春会長、主催者を代表し全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長の挨拶に続き、玉城デニー沖縄県知事、桑江朝千夫沖縄市長の歓迎のことば、勝俣孝明農林水産副大臣、沖縄県選出国会議員、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問・宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問などの祝辞をいただきました。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名の受賞者が紹介されました。

大阪府からは、大阪市住道土地改良区理事長の榎井勇様が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞されました。功績者表彰式の後、農林水産省農村振興局次長による基調講演、優良事例紹介等が行われました。



大阪府土地改良事業団体連合会 理事
大阪市住道土地改良区 理事長
榎井 勇 様

最後に「水土里の拓くみるく世を鳴らしとうゆまし守禮の邦から」に思いを馳せ、魅力ある農業農村の明るい未来を確かなものにしていくため、農業農村の礎である「水・土・里」を健全な姿で次世代に引き継ぐことの大会宣言が行われ、次期開催地福井県を紹介、大会旗引継後、閉会挨拶を行い盛会裡に幕を閉じました。

令和4年度統合整備推進研修（会計研修）会

令和4年12月9日（金）に、アートホテル大阪ベイタワー3階会議室において、全国土地改良事業団体連合会主催による、令和4年度統合整備推進研修（会計研修）会が行われました。

本研修は、土地改良法の改正により、令和4事業年度から、原則として土地改良施設を管理する全ての土地改良区が貸借対照表の作成を義務づけられたことにより、単式簿記と複式簿記での貸借対照表の作成についてそれぞれ、午前と午後の2部にわかつて開催されました。

今回の研修では、府内土地改良区役職員等が午前の部と午後の部をあわせて計99名参加しました。

○午前の部

内容

「単式簿記方式を継続して貸借対照表を作成する方法」

「財務諸表等を活用した財務分析の方法」

○午後の部

内容

「財務諸表等の作成手続き」

「財務諸表等を活用した財務分析の方法」

(午前の部)



(午後の部)



令和5年度土地改良の予算案について

令和5年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定

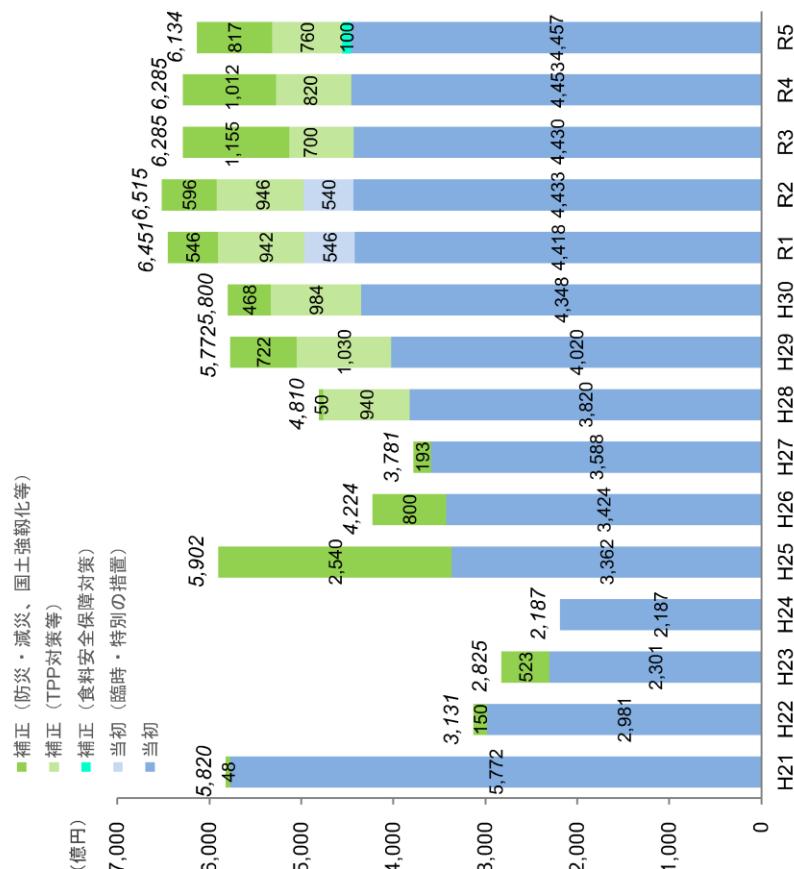
- 農業農村整備事業関係予算の令和5年度当初予算是4,457億円(対前年度比100.1%)
- また、防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策及びTPP対策、食料安全保障対策として、令和4年度補正予算において1,677億円を計上し、これらの総額は6,134億円

令和5年度予算等

	(単位:億円)				
	A 令和4年度 当初予算	B 令和5年度 当初予算 (100.1%)	合計 令和4年度 補正予算	A+B 令和5年度 当初予算	合計 令和4年度 補正予算
農業農村整備事業(公共)	3,321	3,323	1,677	5,000	
農業農村整備開拓事業(非公共) <small>農地耕作条件改善事業、農業水路等長寿化・防災減災事業、畑作等促進整備事業、農山漁村振興交付金</small>	540	543	-	543	
農山漁村地域整備交付金(公共) <small>(農業農村整備分)</small>	591	591	-	591	
計	4,453	4,457	1,677	6,134	

注：計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の推移



令和4年度 第1回 支部事務担当者会議

日 時：令和4年12月7日(水) 午後3時30分～

場 所：大阪府土地改良事業団体連合会 会議室

議 題

- (1) 役員の改選について
- (2) 表彰者の推進について
 - ・大阪府知事感謝状
 - ・第62回大阪府土地改良功労者表彰
- (3) 第44回全国土地改良大会の精算について
- (4) 農空間保全活動支援事業について
- (5) 研修会等今後の予定について
- (6) 支部事務に関するお願い
- (7) その他

令和4年度第1回支部事務担当者会議が、8支部の事務担当者が出席して開催されました。本会から、役員の任期満了に伴う次期役員候補者の選任及び銓衡委員候補者の推薦、表彰者の推薦、第44回全国土地改良大会の精算等について説明、続いて今後の行事予定並びに研修会等の案内と併せて多数参加に向けての協力の依頼を行いました。

支部協議会だより

三島支部

令和4年度第1回支部協議会を、令和4年9月16日(金)に、神安土地改良区において開催し、令和3年度収支決算が承認されました。本会からは、森井常務理事が出席しました。

令和4年11月10日(木)～11日(金)に、支部の管外研修会として兵庫県「新田井堰土地改良区」の現地視察を行いました。この研修には、本会の青山専務理事が参加しました。

泉南支部

泉佐野市土地改良事業団体連絡協議会の令和4年度 管外視察研修会として、令和4年11月4日(金)に、羽曳野市「農業大学校」と豊能郡能勢町「能勢町土地改良区」の現地視察を行いました。この研修には、本会の青山専務理事が参加しました。

支部の研修会として、令和4年11月29日(火)に、奈良県五條市の「五條吉野土地改良区」と農事組合法人ゆめ野山の現地研修を行いました。この研修には、本会の青山専務理事が参加しました。

大阪支部

令和4年12月23日(金)に、大阪市土地改良協会の役員会が大阪市住道土地改良区において開催されました。本会からは、青山専務理事が出席しました。



井川用水（ゆかわようすい） 「世界かんがい施設遺産」に登録されました



井川用水取水口

地域を潤す井川用水

国際かんがい排水委員会（ICID）は、令和4年10月6日（木）にオーストラリア・アデレードにて開催された第73回国際執行理事会において、泉佐野市日根野土地改良区申請の「井川用水」が世界かんがい施設遺産に登録されました。

井川用水について

- 井川用水は約800年前から存在するかんがい用水路です。
- 井川用水の正確な起源は不明ですが、『日根荘日根野村開発絵図』より鎌倉時代末までには存在していたと考えられています。段階的に延伸していった井川用水が十二谷池と接続し、現在の形となったのは、古文書から文安3年（1446）のことであり、江戸時代半ばの絵図には現在とほぼ同じ形で描かれています。井川用水は日根荘の開発領主である九条家が日根荘を開墾し、安定した収益を得るために整備されたものであり、全長2.9kmの水路を、高度差約5mで流れるようにする、緻密で高度な土木技術が用いられました。井川用水の開削によって、日根荘は約200年で当初の約4倍ほど開墾され、日根荘は九条家にとって重要な荘園の一つとなりました。
- 井川用水は中世に遡る水路が現在も利用されていることから、平成10年（1998）には国史跡日根荘遺跡に指定されました。令和元年（2019）には日本遺産『旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—』に認定され、そして令和4年（2022）には世界かんがい施設遺産に登録されました。

土地改良団体における男女共同参画について

今、はじめる。まずはあなたの土地改良区から—



いざ、スタート。2025年度に向けて
この町の土地改良は、みんなで支え合う

女性理事登用

2025年度までに
女性理事が占める割合を0.6%→10%以上に！

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

計画：第5次男女共同参画基本計画（2020.7）、
土地改良長期計画（2021.3）

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の1まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体で役員を務めているなどの参画が期待できるのではないかよう。



働く場を、再点検

これまでに、土地改良団体連合を含め、改めて働く環境を見つめませんか？無農薬の思い込み（お茶入れや電気代や電話料金など）はありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できるところから改善を、誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。



全国水土里ネット・都道府県水土里ネット



いざ、スタート。
2025年度に向けて—



今、はじめる。まずはあなたから—

この町のみんなが
参加できる土地改良へ

女性理事登用

2025年度までに
女性理事が占める割合を10%以上に！

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の1まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体で役員を務めている方などでの参画が期待できるのではないかよう。

女性理事登用

働く場を、再点検

これを機に、土地改良事務団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか？無農薬の思い込み（お茶入れや電気代や電話料金など）は女性、外業は男性などではありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できるところから改善を、誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。



女性の登用を進めましょう！ ～土地改良区理事～

2022 Ver.1-1

ぜひ、令和2年12月に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」で定められた2025年度（令和7年度）期限の成果目標

◎女性理事が登用されていない土地改良区（連合を含む）
ゼロ！！

◎理事に占める女性の割合
10%！！

を実現し、多様な人材に開かれた中長期的に持続可能な土地改良区を目指しましょう。

女性理事登用で期待される土地改良区の多様化

新たな感性や多様な意見は土地改良区の活性化に様々な可能性をもたらしてくれるに違いありません

地域との関わり

○農産物の販売、観光など農業農村の振興に関与する際、新たな発想が活かされ、地域の発展につながるのではないか。

OPTAや子供会など今まで以上にネットワークが広がり連携イベントなどを通じて土地改良への理解が進むといい。

農業との関わり

○スマート農業などの新たな部門に多様な感性を取り入れることで男性主体の社会では気づかなかった新しい制度の展開が期待される。

土地改良区運営との関わり

○女性理事を通じて地域の女性が持っていた意見やアイデアがさらに加わり、土地改良区運営に役立つことが期待される。

○これまでなかった視点が加わることが業務改善につながるのではないか。

土地改良区の発展との関わり

○家族の健康や安全・安心な食への意識など消費者としての多様な感性が加わることで、土地改良事業後の豊かな暮らしなど地域の発展的な構想につながる。

女性理事登用の手続等について

☆遅くとも役員改選期（2022年度【令和4年度】～2025年度【令和7年度】）までに女性理事の登用を実現しましょう。

女性理事選任のスキーム

行動計画を策定

1 理事長・幹部の皆様が、まず女性理事登用の基本的な事項について合意を得た上で、それを踏まえた行動計画（スケジュール）を策定し、それを実行

女性理事の候補者を見つける

2 まずは員内から、女性理事候補者を見つける
・地域で話し合って、現在の女性組合員から登用
・利用権等の設定等を行い、新たな組合員になつてもらい登用

3 員内理事が難しい場合、員外理事制度の活用を検討

定款に定めれば、全理事会の定数の5分の1まで可能です。
※定款変更（員外理事を規定）が必要な場合がありますので、そのために必要な手順と時間を考慮する必要があります。

総（代）会で女性理事を選任

4 総（代）会で役員改選を行います。臨時総（代）会も活用して女性理事を選任する場合も考慮願います。

員外理事候補（案）

○組合員のご家族（妻や娘）など

○地域で活躍するJA、農業委員会、自治会の女性役員など

○地方公共団体の職員など

※ 女性理事にいくつかの土地改良区を兼務していただき、事務等の軽減をはかるという方法も視野にいれてみたらいかがでしょう。

土地改良相談

当連合会では、会員の方々が行う土地改良事業(施設の管理も含む)や土地改良区運営に関する相談をお受けいたしています。

窓口開設日：毎月 5 日・20 日（休日の場合はそれぞれ開設日以降の直近の平日）

“よくある相談事例”

- ・土地改良事業に関する苦情・紛争についての相談
- ・土地改良事業計画の作成や、工事実施に関する相談
- ・事業主体の組織運営上に関する相談
- ・土地改良施設の管理に関する相談
- ・農業水利に関する相談
- ・土地改良法令に関する相談
- ・換地処分、その他農用地集団化に関する相談
- ・土地改良区の定款・規約・諸規程に関する相談
- ・会計処理に関する相談

尚、急を要するご相談の場合は、隨時お受けいたしておりますので、お気軽にご相談下さい。

今後の行事予定

2月	<ul style="list-style-type: none">・13日 第3回 監事会・14日 令和4年度第1回多面的機能支払交付金研修会・22日 第3回 理事会・28日 令和4年度技術実践向上研修会
3月	<ul style="list-style-type: none">・22日 第65回 大阪府土地改良事業団体連合会 通常総会・23日 第65回 全国土地改良事業団体連合会 通常総会

新型コロナウィルス対策！



手 指 消 毒



マ ス ク 着 用



3 密 回 避

大阪府土地改良事業団体連合会 事務所案内 (水土里ネット大阪)

〒 5 3 0 - 0 0 4 1

大阪市北区天神橋 2 丁目 4 番 1 5 号
東西線アクセビル 8 階

TEL : 06-6232-8365

FAX : 06-6232-8623

水土里ネット大阪 は
大阪府土地改良事業団体連合会の
愛称です



最寄り駅 大阪メトロ谷町線・堺筋線 「南森町」 駅よりすぐ

J R 東西線 「大阪天満宮」 駅よりすぐ